

# 戦時下のみなかみ

～山間に造られた地下軍事工場～

本土決戦下の群馬県における本格的な軍隊の移駐は1944年7月から始まった。45年になると米軍のB-29や艦上機による空襲、それに伴って生産施設を地下工場に、その建設が本格化する。さらに満州からの転用部隊や本土決戦部隊の移駐が続く。みなかみを含めた北毛一帯にも様々な戦時下の動きがあった。

日時

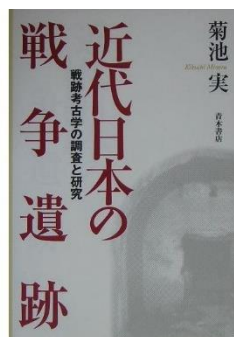
令和元年 7月27日(土)  
13:30～15:00

場所

みなかみ町カルチャーセンター

講師

四川外国語大学教授 菊池 実



1954年12月、群馬県生まれ。國學院大學大学院文学研究科博士課程前期日本史学（考古学）専攻修了。2013年、博士（史学、明治大学）。2007年、藤森栄一賞受賞。2015年1月まで公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団に勤務。文化財保存全国協議会常任委員、戦争遺跡保存全国ネットワーク運営委員、空襲・戦災を記録する会全国連絡会議全国幹事、ぐんま教育文化フォーラム共同研究員、四川外国語大学教授。

著書 2005『近代日本の戦争遺跡～戦跡考古学の調査と研究』青木書店  
2008『戦争遺跡の発掘～陸軍前橋飛行場～』新泉社  
2015『近代日本の戦争遺跡研究～地域史研究の新視点～』雄山閣

入場  
無料!

主催  
後援

みなかみ町文化協会  
みなかみ町教育委員会

問い合わせ先

みなかみ町教育委員会事務局

生涯学習課 0278(25)5025